



## 平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月31日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦 (TEL) 072-368-9401  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 南垣内 啓太  
 四半期報告書提出予定日 平成22年9月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年10月期第3四半期の業績（平成21年11月1日～平成22年7月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	52,231	10.5	3,713	16.9	3,917	16.7	2,224	31.9
21年10月期第3四半期	47,284	—	3,176	—	3,355	—	1,686	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年10月期第3四半期	107	48	—	—
21年10月期第3四半期	16,294	10	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
22年10月期第3四半期	25,977		16,008		61.6		773	37
21年10月期	23,298		14,032		60.2		135,579	57

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 16,008百万円 21年10月期 14,032百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年10月期	—	—	0	00	—	—	2,400	00
22年10月期	—	—	0	00	—	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	—	—	—	12	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無： 無

### 3. 平成22年10月期の業績予想（平成21年11月1日～平成22年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	71,238	10.2	5,102	17.3	5,363	17.3	2,979	26.2	143	93

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 無

② ①以外の変更： 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年10月期 3 Q	20,699,800株	21年10月期	103,499株
22年10月期 3 Q	－株	21年10月期	－株
22年10月期 3 Q	20,699,800株	21年10月期 3 Q	103,499株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成22年3月15日付で公表しておりますとおり、平成22年5月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式を分割しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第3四半期累計期間) .....	5
(第3四半期会計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな改善を受け、輸出・生産が持ち直しの動きを見せ、一部の企業業績に回復の兆しは見られたものの、雇用・所得環境は依然として厳しい状況のまま推移しております。外食産業においても、7月には売上高が6カ月ぶりに前年を上回ったものの、子ども手当などの経済対策の効果は限定的との見方が大勢で、雇用不安、所得の減少に加え、円高やデフレの進行等先行き不透明な状況から外食を手控える傾向は依然根強く、厳しい経営環境が続いております。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、安全・安心・安価で美味しいものを求める顧客の消費動向は、当社の掲げる経営理念“食の戦前回帰”にマッチするものであり、むしろ追い風であるとの認識をもって、顧客来店の動機付けを図る様々な取組みを行ってまいりました。

商品開発面では、一部店舗で導入しておりました、当社自慢の揚げたて『100円天ぷら』と、店舗で直火で炙って提供する『あぶり寿司』の導入店舗を大幅に拡大し、現在『100円天ぷら』は143店舗、『あぶり寿司』はほぼ全店の253店舗にてご提供いたしております。

販売促進面では、店舗に笹竹をご用意して、七夕に願いを込めた短冊を飾っていただいた「七夕祭り」を実施、さらに、大人気の携帯ゲーム機「NintendoDS」をご持参いただくと、当社オリジナルゲームや、「くら」の商品へのこだわり、アレルギー情報などの確認が行える「NintendoZone」を5店舗に試験導入するなど、お客様に「驚きと楽しみ」をご提供できるよう取り組んでまいりました。また、お笑い芸人が人気メニューランキングを予想する大人気バラエティ番組「お試しかっ！」に、当社店舗を利用していただき、ゴールデンタイムの長時間にわたり当社の人気商品をアピールさせていただきました。海外では、平成21年オープンいたしました当社米国回転寿司1号店「Kula Revolving Sushi Bar」の店長が、松井秀喜選手の所属するメジャーリーグ エンゼルス・オブ・アナハイムの公式試合の始球式に参加させていただきました。松井秀喜選手がキャッチャーをしてくださるというパフォーマンスのなか登板し、球場にて店舗紹介までさせていただきました。日本でもプロ野球のオールスターゲームにおいて、キャッチャー後方に「無添くら寿司」の電光広告を出させていただきました。今後もチャンネルを限定せず、様々な場面で当社の存在をアピールしてまいります。

店舗開発につきましては、当第3四半期累計期間において、西日本地区で8店舗、東日本地区で2店舗を新規出店いたしましたので、当第3四半期末の店舗数は、全て直営店で255店舗（「無添蔵」4店を含む）になりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高522億31百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益37億13百万円（同16.9%増）、経常利益39億17百万円（同16.7%増）、四半期純利益は22億24百万円（同31.9%増）となりました。

### （2）財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は259億77百万円となり、前事業年度末に比べ26億78百万円の増加となりました。これは、主に売上増加に伴い現金及び預金が13億69百万円増加したことや、固定資産が新規出店や改装等により13億27百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、99億68百万円と前事業年度末に比べ7億2百万円の増加となりました。これは、主にリース債務が10億49百万円増加したこと、買掛金が2億21百万円増加した一方で、未払法人税等が4億73百万円減少したこと、長期借入金の返済により1億80百万円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、前事業年度末に比べ13億69百万円増加し、40億24百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は35億82百万円（前年同期比7.4%減）となりました。これは、主に税引前四半期純利益が38億92百万円となり、減価償却費が11億70百万円、仕入債務の増加が2億21百万円あった一方で、法人税等の支払が19億4百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は15億28百万円(前年同期比33.0%減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が11億68百万円、差入保証金の差入による支出が1億76百万円、貸付による支出(建設協力金の支出)が1億70百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は6億84百万円(前年同期比125.7%増)となりました。これは、配当金の支払が2億46百万円、リース債務の返済による支出が2億58百万円、長期借入金の返済による支出が1億80百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月27日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,024,935	2,655,084
原材料及び貯蔵品	350,045	288,060
その他	771,080	851,964
流動資産合計	5,146,061	3,795,108
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,993,970	7,616,846
その他（純額）	5,260,909	4,526,947
有形固定資産合計	13,254,879	12,143,793
無形固定資産	551,410	337,140
投資その他の資産		
関係会社株式	97,905	97,905
長期貸付金	2,960,694	2,939,710
差入保証金	3,078,731	2,926,303
その他	887,741	1,058,684
投資その他の資産合計	7,025,072	7,022,604
固定資産合計	20,831,361	19,503,537
資産合計	25,977,423	23,298,646
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,017,432	2,795,705
1年内返済予定の長期借入金	220,000	240,000
未払金	2,340,441	2,232,432
未払法人税等	673,105	1,146,885
その他	1,055,564	855,166
流動負債合計	7,306,544	7,270,191
固定負債		
長期借入金	450,000	610,000
リース債務	1,928,732	1,137,976
その他	283,471	248,128
固定負債合計	2,662,203	1,996,105
負債合計	9,968,748	9,266,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	11,668,960	9,692,635
株主資本合計	16,008,675	14,032,350
純資産合計	16,008,675	14,032,350
負債純資産合計	25,977,423	23,298,646

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	47,284,784	52,231,060
売上原価	22,535,502	24,211,435
売上総利益	24,749,282	28,019,624
販売費及び一般管理費	21,572,824	24,306,380
営業利益	3,176,458	3,713,244
営業外収益		
受取利息	40,032	43,672
受取手数料	77,765	132,517
物販収入	72,941	80,177
雑収入	42,075	31,837
営業外収益合計	232,815	288,205
営業外費用		
支払利息	15,221	40,756
為替差損	1,420	2,503
物販原価	32,046	35,881
雑損失	5,094	4,800
営業外費用合計	53,782	83,941
経常利益	3,355,491	3,917,508
特別損失		
固定資産除却損	18,312	11,754
店舗閉鎖損失	256,021	8,100
減損損失	101,892	—
関係会社整理損	—	5,477
その他	5,000	—
特別損失合計	381,226	25,332
税引前四半期純利益	2,974,265	3,892,176
法人税、住民税及び事業税	1,117,000	1,451,000
法人税等調整額	170,841	216,454
法人税等合計	1,287,841	1,667,454
四半期純利益	1,686,423	2,224,722

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	17,405,995	17,885,993
売上原価	8,055,538	8,288,994
売上総利益	9,350,456	9,596,999
販売費及び一般管理費	7,628,651	8,482,568
営業利益	1,721,805	1,114,430
営業外収益		
受取利息	14,098	14,494
受取手数料	29,963	48,262
物販収入	25,391	25,183
雑収入	3,992	6,222
営業外収益合計	73,446	94,164
営業外費用		
支払利息	4,773	14,567
為替差損	3,920	3,864
物販原価	11,535	11,879
雑損失	1,278	1,067
営業外費用合計	21,508	31,379
経常利益	1,773,743	1,177,215
特別損失		
固定資産除却損	9,953	4,216
店舗閉鎖損失	16,677	3,993
減損損失	101,892	—
関係会社整理損	—	5,477
その他	5,000	—
特別損失合計	133,523	13,688
税引前四半期純利益	1,640,220	1,163,526
法人税、住民税及び事業税	657,000	299,000
法人税等調整額	37,988	203,429
法人税等合計	694,988	502,429
四半期純利益	945,231	661,097

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,974,265	3,892,176
減価償却費	890,705	1,170,429
減損損失	101,892	—
受取利息	△40,032	△43,672
支払利息	15,221	40,756
固定資産除却損	18,312	11,754
店舗閉鎖損失	256,021	8,100
たな卸資産の増減額（△は増加）	△84,415	△61,984
仕入債務の増減額（△は減少）	270,769	221,726
未払消費税等の増減額（△は減少）	206,519	△95,788
その他	355,516	383,302
小計	4,964,776	5,526,799
利息の受取額	4	2
利息の支払額	△13,774	△39,625
法人税等の支払額	△1,083,332	△1,904,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867,674	3,582,396
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,509,086	△1,168,210
無形固定資産の取得による支出	△17,857	△19,912
関係会社株式の取得による支出	△97,905	—
貸付けによる支出	△441,295	△170,773
差入保証金の差入による支出	△150,617	△176,344
差入保証金の回収による収入	38,999	25,978
その他の支出	△101,835	△38,463
その他の収入	—	19,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,279,599	△1,528,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△221,250	△180,000
リース債務の返済による支出	—	△258,058
配当金の支払額	△81,880	△246,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△303,130	△684,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,284,859	1,369,851
現金及び現金同等物の期首残高	593,618	2,655,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,878,478	4,024,935

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。